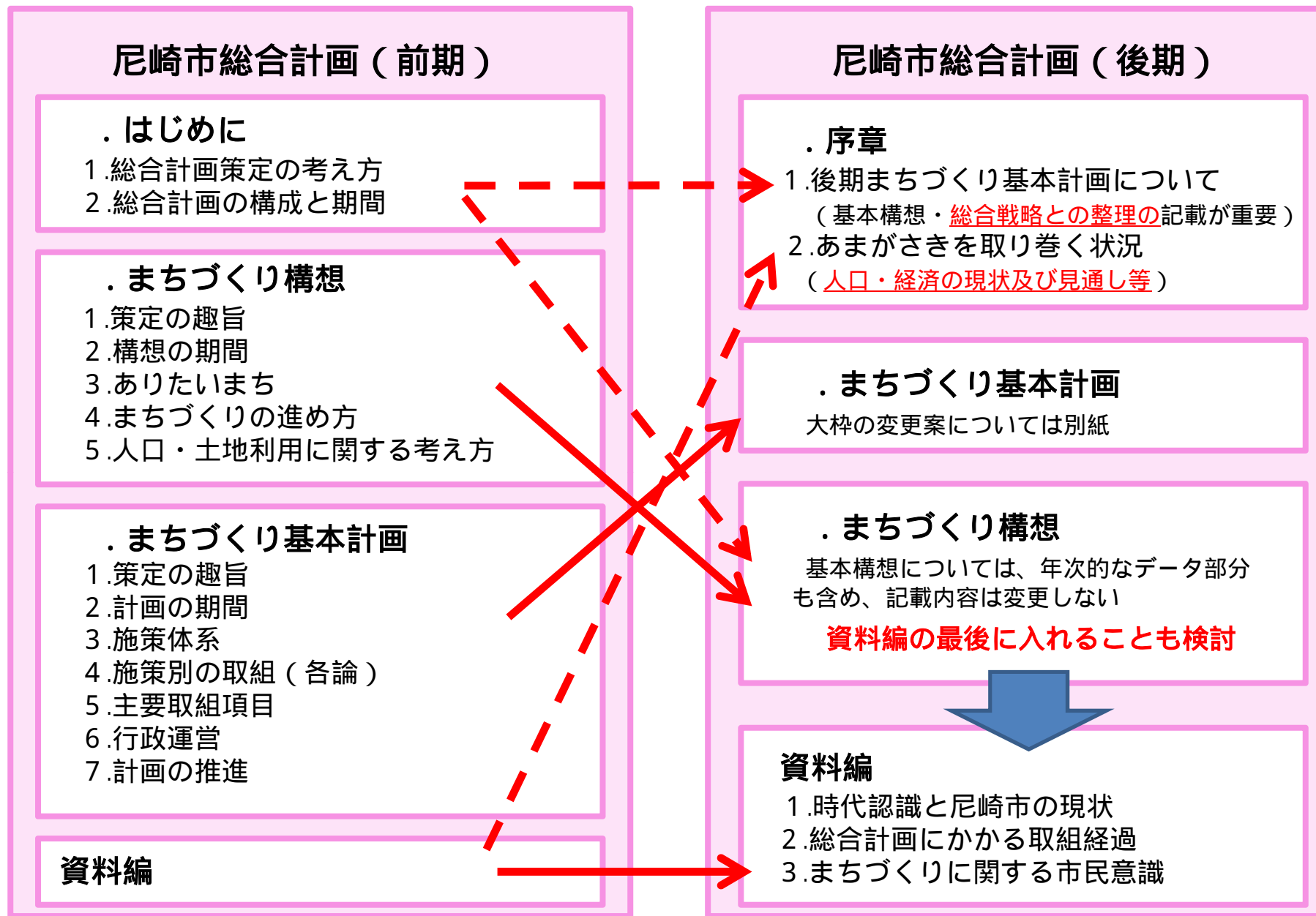


平成28年9月20日
ひと咲きまち咲きあまがさき推進本部（資料1）

尼崎市総合計画の検討について

（尼崎市総合計画（後期まちづくり基本計画））

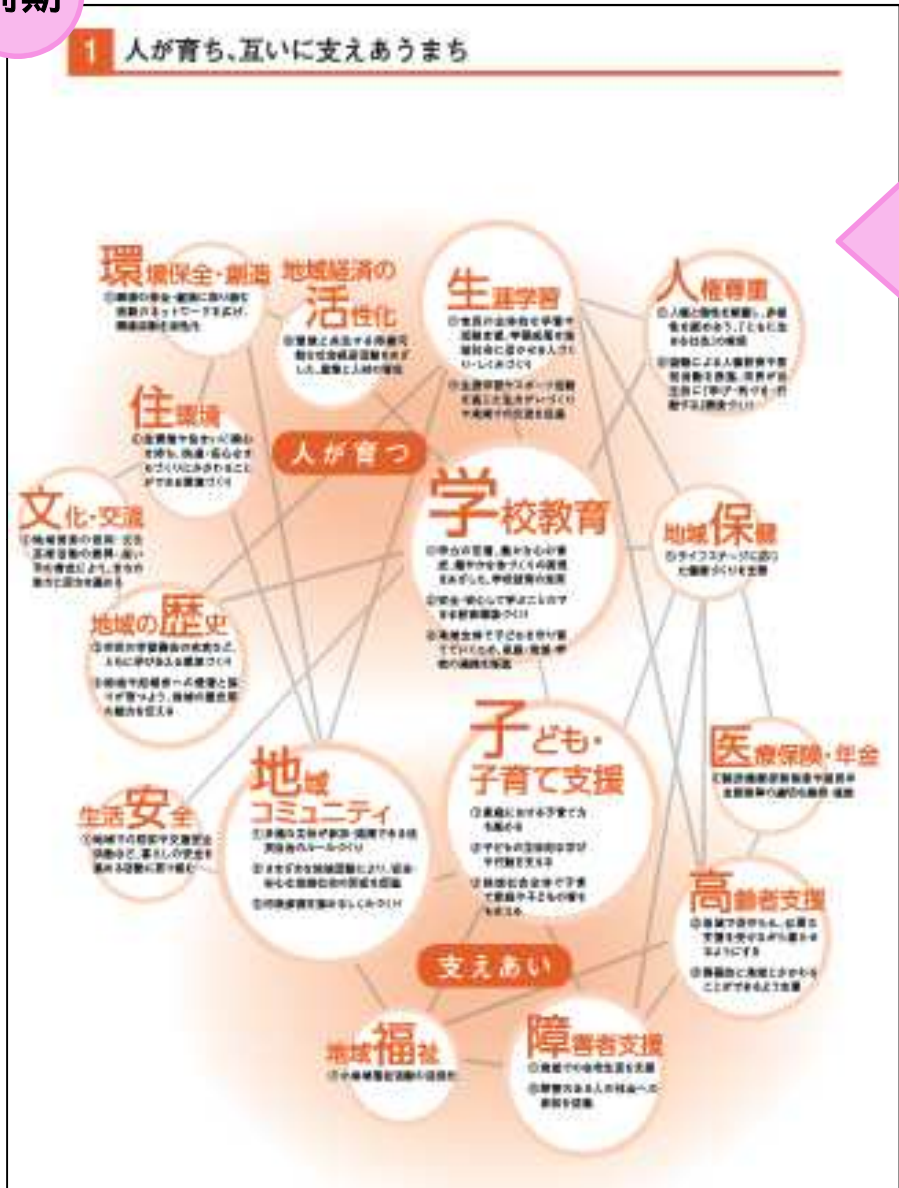
構成について



表紙等の体裁は、色味を変える程度で検討

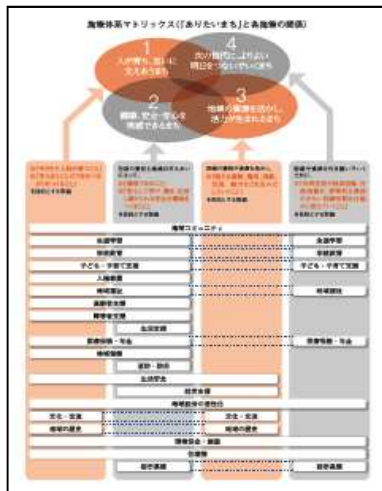
施策ネットワークのイメージ

前期



施策ネットワークのイメージ (P 29 ~ 32)

視覚的に



施策体系マトリックス (P 29)

(3) 施策の概要

計画を構成する施策と施策の展開方向を一覧に示します。合わせて、「施策の展開方向」と、4つの「ありたいまち」との関係を示します。

施策名称	展開方向	関係のありたいまち
1-1 子育て支援	1-1 子育て支援	1, 2, 3, 4
1-2 子育て支援	1-2 子育て支援	1, 2, 3, 4
1-3 子育て支援	1-3 子育て支援	1, 2, 3, 4
1-4 子育て支援	1-4 子育て支援	1, 2, 3, 4
2-1 高齢者支援	2-1 高齢者支援	1, 2, 3, 4
2-2 高齢者支援	2-2 高齢者支援	1, 2, 3, 4
2-3 高齢者支援	2-3 高齢者支援	1, 2, 3, 4
2-4 高齢者支援	2-4 高齢者支援	1, 2, 3, 4
3-1 障害者支援	3-1 障害者支援	1, 2, 3, 4
3-2 障害者支援	3-2 障害者支援	1, 2, 3, 4
3-3 障害者支援	3-3 障害者支援	1, 2, 3, 4
3-4 障害者支援	3-4 障害者支援	1, 2, 3, 4
4-1 地域福祉	4-1 地域福祉	1, 2, 3, 4
4-2 地域福祉	4-2 地域福祉	1, 2, 3, 4
4-3 地域福祉	4-3 地域福祉	1, 2, 3, 4
4-4 地域福祉	4-4 地域福祉	1, 2, 3, 4

施策の概要 (P 27・28)

現状は、それぞれの「4つのありたいまち」ごとに、それぞれ寄与する施策と展開方向を視覚的に示す「イメージ図」を記載している。

現行の「4つのありたいまち」に対する施策関連図では、なかなか具体的なイメージが想像できず、P 27 ~ 29の記載内容を補完するまでにはいたっていないのではないかと。

変更（案）

後期

具体的な取組を記載 (関連する施策を記載)

(4) 主な取組と施策ネットワーク

1人が育ち、互いに支え合うまち

- 戦) 学校教育・社会教育と人材育成
- 戦) シビックプライドの醸成

(例1)

学びと実践のチャンスにあふれるまちを目指し、まち中をキャンパスとした「みんなの尼崎大学」。



(例2)

ご寄付いただいた大学施設を活用したまちづくりに関わる人材の創出やシチズンシップの醸成



総合戦略より

総合戦略で記載したように、計画期間中の目玉となる「主な取組」を記載し、取組の達成に必要な施策間連携を視覚的にし、施策マトリックスを表現することで、後期計画期間中の主な取組を周知するとともに計画に位置付ける。

検討事項

○次項「主要取組項目」との併せての記載を検討する。

○「主な取組に、20施策56展開方向すべてが紐づけられる必要はないと考える。

主要取組項目

地方創生に伴い、総合計画のアクションプランとして「総合戦略」を策定したことから、主要取組項目には、総合戦略の「6つの政策分野」を盛り込む必要がある。

検討事項

- 「4つのありたいまち」と「6つの政策分野」をリンクさせる
- マトリックス構造が輻輳しないような設計が必要
- 総合戦略のアクションプランとしての位置づけを踏み込んで記載する

主要取組項目 行政運営
総合戦略 未来へつなぐプロジェクト

総合戦略を反映

施策評価と歩調を合わせ、「6つの政策分野」で



主要取組項目 (P 75 ~ 78)

後期計画はここをリンクさせる

4つのありたいまち	主要取組項目 (H30-34)	6つの政策分野 (H27-31)
人が育ち、互いに支え合うまち	地域ぐるみで子どもの育ちを支え、生きる力や学力の向上を図る 市民の力を地域での活動につなぎ、地域コミュニティの活性化を支援する	①子ども・子育て支援の充実 ②学校教育・社会教育と人材育成 ⑤シビックプライドの醸成
健康、安全・安心を実感できるまち	生涯を通していきいきと社会に参画できるよう、健康を支援する 社会とつながりを保ち、安定した生活を送れるよう、勤労や自立を支援する	④市民とともに取り組む健康寿命の延伸 ②学校教育・社会教育と人材育成 ③安心して働ける場の創出
地域の資源を活かし、活力が生まれるまち	社会や地域における新たなニーズに応え、雇用創出にもつながる事業活動を支援し、地域内の経済循環を図る 「まちの魅力」の再発見・創出と、戦略的な情報の構築・発信により尼崎の魅力を高める	③安心して働ける場の創出 ⑤シビックプライドの醸成
次の世代に、よりよい明日をつないでいくまち	よりよい住環境の創出に向けた取組を促進する 公共施設の再配置と機能向上を図り、市民活動や災害時の拠点として持続的に活用する	⑥よりよい住環境の創出と都市機能の最適化 ⑥よりよい住環境の創出と都市機能の最適化

行政運営

現状

「持続可能」なまちづくりを進める上で必要な、施策を超えた「行政運営」についての取組方向を記載しているが、進捗管理（P D C A）についてあまり意識されていない。

一部「未来へつなぐプロジェクト」にふられており、そこで指標設定あり

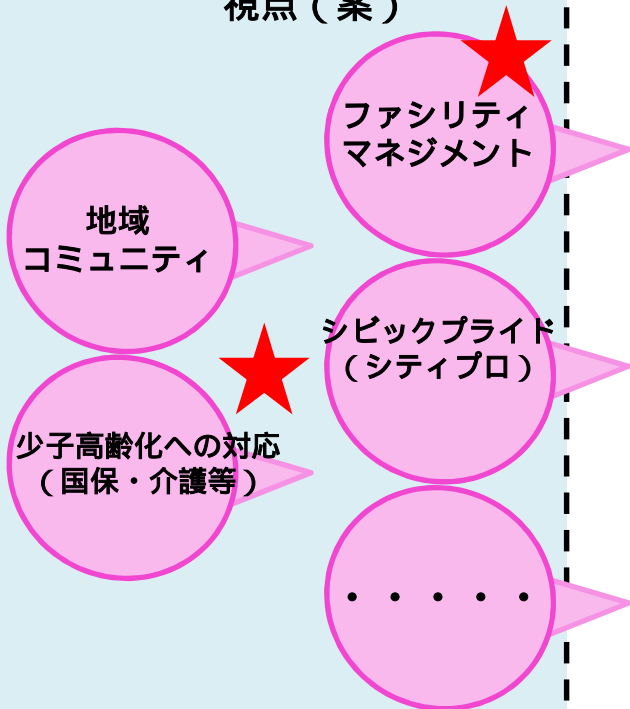
変更

変更案

施策評価を実施していくうえで、新たに施策を超えて進捗管理が必要とされた視点について追記するとともに、目標値もしくは取組の方向性を記載するなど、次年度以降の進捗管理（P D C A）を見据えながら再構築する。

「未来へつなぐプロジェクト」との視点（項目）整理が必要か

新たに追加する視点（案）



「20施策」が「行政運営」のいずれかで進捗管理をするのか引き続き検討

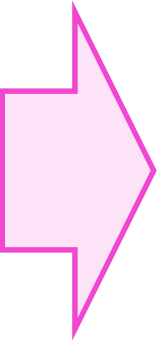
<h4>⑥ 行政運営</h4> <p>「ありたいまち」の実現に向けたまちづくりを徹底的に進め、地域の魅力や活力を高めていくために、地味・地味ながらも持続可能なまちづくりに取り組むとともに、社会経済情勢の変化にも対応できる、持続可能なまちづくりを実現するための取組を推進し、より柔軟に市民ニーズに対応したサービスを提供できるよう取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、地域課題の解決に向けて、地域コミュニティの活性化に向けた取組をさらに進めていく必要がある。</p> <p>ことや、行政の役割が「公共サービスの主たる担い手」であることにあわせて、「コーディネーター的役割」も求められること等を踏まえ、施策や後援を介して提供される行政サービスや支援を、どのような体制で市民に提供していくかについて、今日的な視点で検討する必要があります。</p> <p>こうした考え方を行政運営の基本に加え、次のような取組を進めます。</p> <p>(1) ともにまちづくりを進めるために</p> <p>① 仕事に取り組む視点</p> <p>「ありたいまち」の実現に向け、各部署における「互いの業務の連携」を進めることに加え、行政が各主体が取り組むことに取り組むことにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>また、個々の施策において具体的な取組を進めることにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>② 情報の収集・発信と市民の市政参画の促進</p> <p>市民、事業者と行政が、ともにまちづくりを進めるために、まちづくりに関する意識や取組等の情報を収集・発信し、市民の市政参画を促進することにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>また、市民のまちづくりへの参加、参画を促進し、市民のまちづくりの推進に貢献します。</p> <p>③ 情報の収集・発信と市民の市政参画の促進</p> <p>市民、事業者と行政が、ともにまちづくりを進めるために、まちづくりに関する意識や取組等の情報を収集・発信し、市民の市政参画を促進することにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>また、市民のまちづくりへの参加、参画を促進し、市民のまちづくりの推進に貢献します。</p> <p>(2) 市民生活を支え続けるために</p> <p>① 収入の向上に向けた取組</p> <p>この計画に基づき、各部署においてさまざまな取組を進めることで、市民生活の向上に貢献することにより、まちづくりの推進に貢献します。</p>	<p>② 健全な財政運営</p> <p>今後の更なる高齢化の進行による社会保障費の増大や、負担の増大に伴い、多岐にわたる分野において、財政運営の確保が重要となる見込みです。</p> <p>③ 将来負担を見据えとともに社会情勢の変化に備える取組</p> <p>将来世代に負担を転嫁することなく、社会情勢の変化に備える取組を進めます。</p> <p>(3) 行政運営の実効力を高めていくために</p> <p>ともにまちづくりを進め、市民生活を支え続けるために、行政運営に当たる職員には、これまで以上に、市民の立場に立ち、ともに考え行動すること、新たな取組の推進・後援・支援を通じて進捗管理に貢献することにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>また、最大限にその能力を発揮することにより、まちづくりの推進に貢献します。</p> <p>このことから、この計画に基づいて、これからのまちづくりを確実に進めていくために、人事給与制度や報酬の見直しに留意して取り組んでいきます。</p> <p>なお、行政運営改革から具体的な取組については、別途計画を策定し、進めていきます。</p>
--	--

プロジェクト記載項目

「持続可能なまち」に向けた体質改善

タイトル変更も検討

まちの通信簿 (イメージ)			
項目	現状	方向	成績
5歳未満の子どもがいる世帯の転出超過数	382	↓	☀️
「夫婦と子どもからなる世帯」の割合	25.4	→	☀️
ファシリティマネジメント計画達成 (年次進捗)			☀️
・			☁️
・			☀️
・			☁️
・			☔️



まちの通信簿 (イメージ)

基本目標	現状	方向	成績
5歳未満の子どもがいる世帯の転出超過数	382	↓	☀️
「夫婦と子どもからなる世帯」の割合	25.4	→	☀️
ファシリティマネジメント計画達成 (年次進捗)			☀️
・			☁️
・			☀️
・			☁️
・			☔️

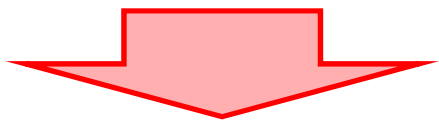
分かりやすくするため、簡略化しています。実際は、もう少し詳しく書き込むことをイメージしています。

項目追加によりページ数は増加

それぞれの視点に関する基本目標及び方向 (目標値) 等を記載する。総合戦略の基本目標やプロジェクト及び前期計画や施策評価における指標で各施策では大きすぎる指標を持ってくるイメージ (なぜその指標を選んだのか説明記載が非常に重要)。

検討事項

- 計画記載イメージは毎年市報での公表を意識した書きぶり (中学生でも分かる程度)。
- 上記とは別に、実際の進捗管理は**施策評価に合わせ**「マニフェスト」レベルもしくは「施策評価」レベルで実施 (施策評価に合わせた掲載か)。
- 「まちづくりの進め方 (P 17・18)」と併せた検討が必要。



計画に記載する表面的な部分だけでなく、評価の具体的手段 (施策評価・プロジェクトとの連携) 及び各項目の担当局などの実務体制を併せて決定しておく必要がある。